

数 学 問 題

はじめに、これを読みなさい。

1. 試験場内では、監督者の指示に従うこと。
2. 解答を始めるよう合図があるまで、問題冊子は開かないこと。
3. この問題冊子は 6 ページある。ただし、ページ番号のない白紙はページ数に含まない。
4. 解答用紙に印刷されている座席番号が正しいか、受験票と照合すること。
5. 監督者の指示にしたがい、解答用紙の氏名欄に氏名を記入すること。
6. 解答は全て「解答用紙」の所定欄にマークするか、または記入すること。所定欄以外のところには何も記入しないこと。解答欄は裏面にもある。
7. 問題に指定された数より多くマークしないこと。
8. 解答は、必ず鉛筆またはシャープペンシル(いずれも HB・黒)で記入のこと。
9. 訂正する場合は、消しゴムできれいに消し、消しきずを残さないこと。
10. 解答用紙は、絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
11. 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離さないこと。
12. 解答用紙は持ち帰らず、必ず提出すること。
13. 問題冊子は必ず持ち帰ること。
14. 不正行為または不正行為と疑われる行為に対しては、厳正に対処する。
15. 試験時間は 60 分である。
16. マークシート記入例

良い例	悪い例
●	○ × ○

[I] 正六面体のサイコロがあり、1から6までの数字が各面にひとつずつ書かれている。このサイコロを3回投げて出た目の数を順に a, b, c とする。

以下の間に答えなさい。空欄内の各文字に当てはまる数字を所定の解答欄にマークしなさい。ただし、分数はすべて既約分数にしなさい。

(1) abc が3の倍数となる確率は

アイ
ウエ

 である。

(2) $a+b+c$ が8の約数となる確率は

オ
カ

 である。

(3) a, b, c がこの順に等差数列をなし、かつ、 $a < b < c$ を満たす確率は

キ
クケ

 である。

(4) a, b, c が $0 \leq \log_2 a + \log_2 b + \log_2 c - \log_2 3 \leq 1$ を満たす確率は

コ
サシ

 である。

(5) a, b, c が $\int_0^6 |x-a| dx + \int_0^6 |x-b| dx + \int_0^6 |x-c| dx = 30$ を満たす確率は

ス
セソ

 である。

(このページは計算用紙として使用しなさい。)

[II] 平面上に 3 点 A, B, C を頂点とする三角形 ABC があり、辺 AB の長さは $3\sqrt{3}$ 、辺 AC の長さは $5\sqrt{3}$ 、 $\angle BAC$ は 120° である。三角形 ABC の内心を I とし、三角形 ABC の外心を O とする。

以下の間に答えなさい。空欄内の各文字に当てはまる数字を所定の解答欄にマークしなさい。ただし、分数はすべて既約分数にしなさい。根号を伴う空欄は、根号の中に現れる自然数が最小となる形で答えなさい。

(1) 辺 BC の長さは $\boxed{\text{タ}}\sqrt{\boxed{\text{チ}}}$ であり、三角形 ABC の外接円の直径は $\boxed{\text{ツテ}}$ である。

(2) 三角形 ABC の面積は $\boxed{\text{トナ}}\sqrt{\boxed{\text{ニ}}}$ であり、三角形 ABC の内接円の半径は $\boxed{\text{ヌ}}\boxed{\text{ノ}}$ である。

(3) $\vec{AI} = \boxed{\text{ハ}}\vec{AB} + \boxed{\text{フ}}\vec{AC}$ である。

(4) $\vec{AO} = \boxed{\text{ホマ}}\vec{AB} + \boxed{\text{ムメ}}\vec{AC}$ である。

(このページは計算用紙として使用しなさい。)

[III] 2つの関数 $f(x) = x^3 + 3tx^2 + 12(t-1)x$, $g(x) = -f(x)$ について, 座標平面上の2曲線 $y = f(x)$, $y = g(x)$ を考える。ただし, t は定数である。また, 関数 $f(x)$ が極大値と極小値をもち, 極値をとるときの x の値を α, β (ただし, $\alpha < \beta$) とする。

以下の間に答えなさい。設問(1), (2)は空欄内の各文字に当てはまる数字を所定の解答欄にマークしなさい。設問(3), (4), (5)は裏面の所定の欄に解答のみ書きなさい。ただし, 分数はすべて既約分数にしなさい。

(1) $\alpha + \beta = -\boxed{\text{ユ}} t$, $\alpha\beta = \boxed{\text{ヨ}} t - \boxed{\text{ラ}}$,
 $\beta - \alpha = \boxed{\text{リ}} t - \boxed{\text{ル}}$ である。

(2) 2曲線 $y = f(x)$, $y = g(x)$ の共有点が3個となるとき, 原点以外の共有点の x 座標を γ, δ とすると,

$$\gamma + \delta = -\boxed{\text{レ}} t, \quad \gamma\delta = \boxed{\text{ロワ}} t - \boxed{\text{ヲ}}$$
 である。

(3) 2曲線 $y = f(x)$, $y = g(x)$ の共有点が2個となる t の値をすべて書きなさい。

(4) 2曲線 $y = f(x)$, $y = g(x)$ の共有点が3個となるとき, 4点 $A(\alpha, f(\alpha))$, $B(\alpha, g(\alpha))$, $C(\beta, f(\beta))$, $D(\beta, g(\beta))$ を頂点とする四角形ABCDの面積を S とする。 S を t を用いて表した式を書きなさい。

(5) (4)の条件を満たし, かつ, $\beta - \alpha \geq 3$ となるとき, 四角形ABCDの面積が最小となる t の値とそのときの面積 S を求めなさい。

(このページは計算用紙として使用しなさい。)



